

# 令和7年度 第1回 高洲小学校学校地域連携運営協議会議事録

日 時：令和7年5月9日（金）

会 場：会議室

## 1 校長あいさつ

- ・校長：高洲小学校の保護者・地域の方々はとても協力的であり支援体制が整ってきている。とてもありがたい。子どもたちは知識が豊富であるが、他者との関わりや自分の考えを伝えることに課題がみられる。また、学習面において二極化も見られる。人とのつながりを大切に、「しなやか」に生きる子どもたちを育てていくために、これまで以上に保護者や地域の方々のお力もお借りしたい。

## 2 委員の任命並びに、コミュニティースクールに関する説明

- ・教頭：コミュニティ・スクールについての説明  
主な役割、導入のメリット・魅力、期待したい効果について
- ・校長：教育委員会からの委嘱状の配付

## 3 委員自己紹介

- ・各委員より

## 4 学校の様子

- ・4月の行事等、写真と説明

## 5 会長・副会長の選出

- ・教頭： 会 長：PTA会長 豊福 詩織 様  
副会長：学校支援コーディネーター 田中 恭子 様  
→ 承認

## 6 協議

### （1）令和7年度学校運営の基本方針について（P・Pを用いての説明）

- ・校長：内容説明  
学区の特色、学級数・児童数の推移、子どもたちの様子、教職員の様子、それらを踏まえた経営の基本方針、学校教育目標・めざす子ども像、経営の重点について  
→ 承認

### （2）部活動について

- ・教頭：職員の異動に伴い、安定した指導者の確保が難しい状況であることや、職員の業務増加による負担も考慮し、昨年度より活動期間を短く設定した。  
子どもたちの要望・やる気を受け止め、なんとか期間を長く設定できないかと模索していたところ、保護者や地域の方で担ってくださる方が見つかった。  
それにより、6月の陸上部の大会以降、サッカー部とミニバスケットボール部については、1学期からスタートとなる。しかし、吹奏楽部については、担ってくださる方が見つかっておらず、子どもたちの要望に応えることができていない。人材発掘にご協力いただきたい。
- ・豊福会長：CS委員による人材発掘には限界がある。自治会への周知が必要である。  
そういった意味でも自治会の方をCS委員に入っていただくのも方法の一

つである。ただ、自治会も任意であるため、今では加入率が低い。

- ・池田委員：いろんな団体に相談してみてはどうか。
  - ・田中副会長：市民活動センターやボランティアセンターの活用をしてみてはどうか。
- 継続協議

### (3) 環境整備について

- ・教頭：昨年度から、校舎周辺を花壇などで華やかな雰囲気にしていただいているところ。より花いっぱい为学校にしていきたい。
- 継続

### (4) 学校評価

- ・教頭：昨年度同様、年2回の実施は継続。時期を早めて、集計・分析したものを協議会開催に合わせて行い、より計画的に学校評価を運用していきたい。  
アンケート項目について、昨年度同様でよいか。
  - ・豊福会長：昨年度変更したところ。経年比較が必要である。継続でよい。
- 継続

## 7 その他

### (1) 今後の予定について（資料：年間計画）

第2回      7月    4日（金）    10：00～      会場：会議室ほか

第3回    11月21日（金）    10：00～      //

第4回      2月27日（金）    10：00～      //

その他、40回程度、子どもたちの様子を見ていただけるよう、参観や手伝いを頂けるよう設定。

### (2) 学校連絡窓口

教頭 鈴木 崇      047-350-1536

（メールアドレス）suzuki.takashi@city.urayasu.lg.jp

### (3) CS委員とわかる名札があるとよい

→学校で準備

### (4) PTAによるポイント立ち参加率低下について

豊福会長：保護者の実態やニーズを鑑みると、委託する方法も考えられる。

現在老人会に有償でお願いすることも検討しているが、責任の所在等を考えると難しい。なにか良い方法はないか。

田中副会長：一度なくしてみることで、子どもたちの自主性を育てるのはどうか。

教頭：ポイント立ちはそのまま継続しつつ、ポイント立ちが難しい方や自治会・老人会等の方々に、散歩のついで（延長上）に子どもたちの見守りをしていただくのはどうか。

→継続協議